



玉川通信

～ かけはし ～

学校だより NO. 8
令和6年 11月29日
昭島市立玉川小学校
校長 小瀬 和彦

初雪の候となってまいりましたが、保護者・地域の皆様には、御健勝のことと存じます。日頃より本校の教育活動に御理解と御協力をいただきありがとうございます。

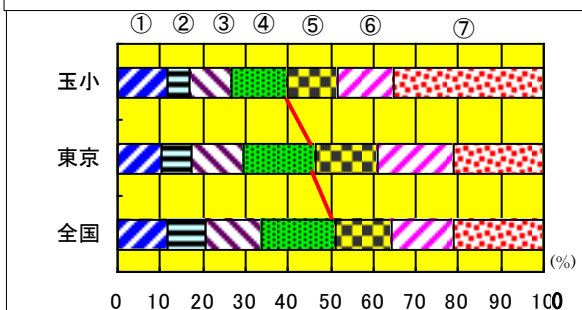
先日、11月7日（木）には、FOSTERホールで令和6年度 小学校音楽会が開催されました。玉川小学校では6年生が代表で出演しました。宮崎陽介教諭の指揮の下、「船で行こう！」は、息の合った素晴らしい歌声を、「ソーラン節」ではメリハリが効いた迫力のある演奏を披露してくれました。「6年生の児童のみなさん！素晴らしいかったです。（拍手）」保護者の皆様からも心のこもった御声援をいただきました。心よりお礼申し上げます。

玉小の子どもたちの SNS 活用・動画視聴時間

次のグラフは、子どもたちの SNS 活用時間と動画視聴時間の各割合です。（令和6年度 全国学力・学習状況調査結果より）

◇ 質問事項

普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで SNS や動画視聴などをしますか。（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く）



12月の生活目標 「身の回りの整理・整頓をしよう」

< 学級での取組 >

- ・学校や学級を綺麗にする。
- ・使った物の後始末をきちんとする。
- ・持ち物の整理整頓をする。
- ・冬休みの計画を立てる。

2学期に使わない道具は、随時持ち帰ります。普段からそうですが、下校時に走ってしまうと大変危険です。傘の扱いにも十分気を付けましょう。また、手をポケットに入れず、手袋を使うように話しています。まだまだ転ぶことも多い年代です。1年生から6年生まで協力して安全に過ごせるよう、御家庭でもお話しください。

〔グラフの凡例〕左から

- ① 4時間以上
- ② 3時間以上、4時間より少ない
- ③ 2時間以上、3時間より少ない
- ④ 1時間以上、2時間より少ない

- ⑤ 30分以上、1時間より少ない
- ⑥ 30分より少ない
- ⑦ 携帯電話やスマートフォンを持っていない

メディア・リテラシーを 身に付けよう！

メディア・リテラシーとは、メディア（テレビ、新聞、インターネット、本や雑誌等）から発信される情報を鵜呑みにせず、自ら読み解き、考え、活用するスキルのことです。

現在、デジタル空間は、表現の自由が確保される一方で、偽情報・誤情報があふれ、健全な情報の流通が阻害されています。原因の一つがアテンションエコノミーです。情報の質ではなく、人々の興味や注目の度合いに経済的価値を置くということです。そのため、特定の情報に影響されやすい人に向けて効果的に情報が発信されています。フィルターバブルの問題です。

さらにそれを受け止めた人が SNS の中で拡散し、真偽にかかわらず、その情報を正しいと信じる人が増えています。

メディア・リテラシーを身に付けるためには、次のことを習慣付けることが大切です。

- ① 情報を集める基本として政府や専門機関が公式に発表しているものから情報を得る。
- ② 参考データや参考文献等の表記を確認する。
- ③ 同じ情報でも複数の情報源からデータを集め、比較して吟味する。

大事な局面で情報に踊らされないようにメディア・リテラシーを養っておきましょう。